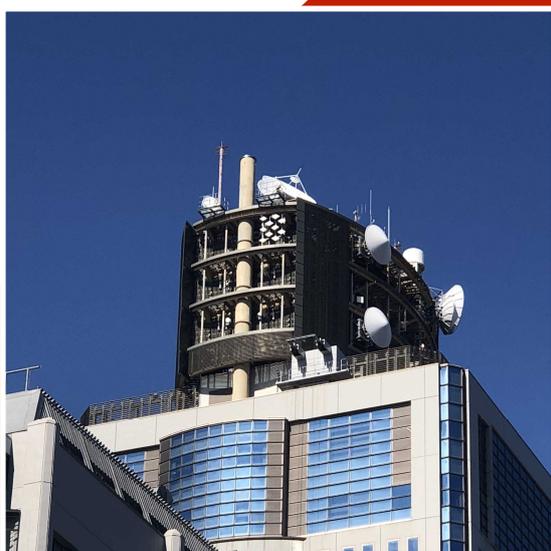


静岡県電気職員の紹介



静岡県

静岡県の電気職員とは

電気に関する幅広い知識と 行政事務能力を併せ持った理系公務員

静岡県の行政職員として、県有施設の建設・維持管理、職業訓練の指導、上下水道施設の建設・管理、防災無線の管理等、電気に関する幅広い業務に従事します。

担当する業務の中には、技術職員として電気に直接関わる業務だけでなく、法規確認、事務手続き、県民対応などの事務的な業務もあります。

これらの職場で、電気に関して直接または間接的に携わりながら静岡県の発展と県民生活を支える仕事に励んでいます。



電気職員に求められる能力

電気に関する幅広い知識・理解力

行政に求められる課題は多岐に渡り、その内容は時代と共に変化していきます。

これらの課題への的確に対応するため、行政運営には技術的な判断を要するものもあり、その役割を担う電気職員には電気に関する幅広い知識と理解力が必要となります。

なお、各業務に関する専門的知識や資格は、入庁後に研修やOJT等により身に付けていきます。

コミュニケーション能力と調整力

電気職員として県の業務を行う上では、県庁内の各担当部署、設計や工事を行う業者、県有施設の利用者、周辺住民等、様々な人達との関わりがあり、各々の意見を調整して進めなければなりません。

加えて、透明性や説明責任の確保という社会的要請も生じています。

そのため、常に相手の意見に耳を傾け、その意見に対し自分の考えを的確に伝えるとともに、相手の意見を尊重しながら適切な判断をし、業務を円滑に遂行していくコミュニケーション能力と調整力が必要です。

静岡県が活躍するフィールド

電気職員の業務は、大きく『建築関係』、『上下水道関係』、『情報通信関係』、『職業訓練関係』の4つの分野に分けられます。

電気職員として採用された後は、この中のいずれかの分野の所属に配属され、その後3年程度の周期で配属先が変わります。



フィールド①

建築関係

P4



フィールド②

上下水道関係

P5



フィールド③

情報通信関係

P6



フィールド④

職業訓練関係

P7

フィールド① 建築関係

～県有施設の基本計画の立案から設計・工事監理、維持管理までの建築物の電気設備に関する業務を担当します～

主な業務内容

県有施設の建替・修繕の計画立案

県有施設の建替計画・改修計画の作成、スケジュールの検討、予算措置等、施設整備の計画立案を行います。



県有施設の設計管理、工事監理

県有施設の電気設備(受変電設備、照明設備、情報通信設備など)の設計業務管理や工事監理を行います。



県有施設の維持管理

県庁舎や大規模な県有施設の維持管理を行います。



建築関係法令の審査・指導

建築基準法などの建築関係法令の審査・指導を行います。



主な配属先

【県庁】

経営管理部資産経営課
くらし・環境部建築住宅局建築安全推進課
交通基盤部建築管理局設備課
教育委員会教育施設課

【出先機関】

土木事務所(沼津、静岡、浜松)

フィールド② 上下水道関係

～浄水場や下水処理場の建設整備計画の立案や施設の
運転管理、電気設備の維持管理に関する業務を担当
します～

主な業務内容

水道施設の企画、予算措置

水道施設の整備・修繕計画の作成、予算措置等、施設整備の計画立案を行います。



下水道施設の企画、予算措置

下水道施設の整備・修繕計画の作成、予算措置等、施設整備の計画立案を行います。



浄水場の運転管理、維持管理

浄水場において、水処理の電気設備の点検・修繕などの維持管理を行います。



下水処理場の運転管理、維持管理

下水処理場において、汚水処理の電気設備の点検・修繕などの維持管理を行います。



主な配属先

【県庁】

交通基盤部都市局生活排水課
企業局水道企画課

【出先機関】

土木事務所(沼津)
狩野川流域下水道浄化センター
企業局東部事務所
企業局西部事務所

フィールド③ 情報通信関係

～デジタル防災通信システム・ふじのくに防災情報共有システムや県庁内ネットワークの整備、運用、維持管理に関する業務を担当します～

主な業務内容

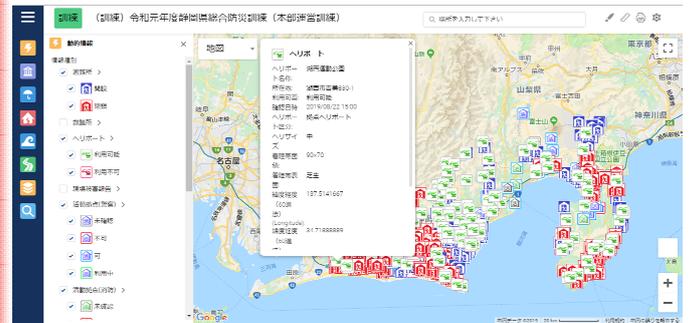
デジタル防災通信システムの整備

災害時に市町や防災関係機関等と通信を確保するため整備したデジタル防災通信システムの整備、運用を行います。



防災情報共有システムの整備

災害時に市町や防災関係機関等と被災情報、避難所情報等を共有するふじのくに防災情報共有システムの整備、運用を行います。



静岡県の情報ネットワークの整備

静岡県職員が利用する情報ネットワークの整備を行います。



静岡県職員のパソコン環境の整備

静岡県職員が業務で利用するパソコンの環境整備を行います。



主な配属先

危機管理部危機対策課
知事直轄組織電子県庁課

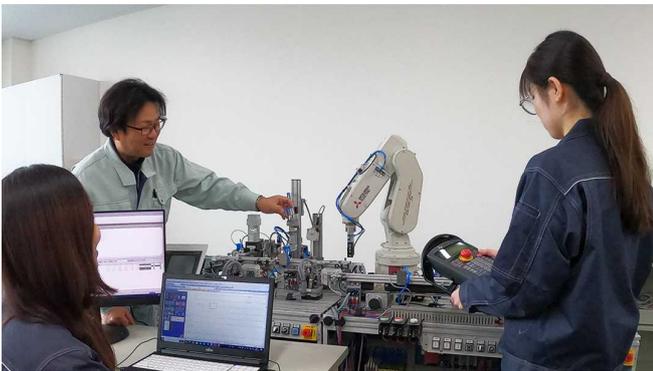
フィールド④ 職業訓練関係

～職業訓練に関する業務を担当します～

主な業務内容

職業訓練指導(電気技術科)

電気設備の施工管理及び工場の電気設備保守管理ができる技術者を育成します。



職業訓練指導(電子情報技術科)

エレクトロニクス、組込・制御技術、情報通信の技術者を育成します。



職業訓練指導(情報技術科)

システム設計技術、データ解析技術、ソフトウェア制作技術ができる技術者を育成します。



訓練計画の企画、運営

離転職者向け職業訓練に関して外部の訓練委託先と連携し、訓練計画の企画や運営を行います。



主な配属先

工科短期大学校静岡キャンパス
工科短期大学校沼津キャンパス
浜松技術専門校
あしたか職業訓練校

先輩職員の声

交通基盤部
建築管理局設備課電気班

後藤直也 (令和5年度入庁)

建築
関係



—高等学校や庁舎等の県有施設の電気設備の設計・工事監理などを担当しています—

県有施設の新築や改修・更新工事において利用者が満足する設備となるように設計管理及び工事監理を行っています。監理には常に法令や規則が関わってくるので、建築設備関係の法令について学ぶことができます。時には苦勞もしますが、自分が担当した工事が完成し施設担当者の喜ぶ声を聞けることがこの仕事のやりがいだと思います。

《ある一日のスケジュール》

8:30	勤務開始、メール確認
10:00	発注資料作成
12:00	昼休み
13:00	現場での打合せ、施工状況の確認等
17:15	勤務終了

教育委員会
教育施設課施設保全班

林健太郎 (令和5年度入庁)

建築
関係



—県立学校(高等学校や特別支援学校)の技術的サポート及び工事に関わる予算管理を担当しています—

県立学校担当者の施設の維持管理に関する技術面での相談対応・指導、修繕要望のヒアリング、工事予算管理、工事執行部局ほか関係機関との連絡調整等を行なっています。生徒や職員が不自由なく安全に過ごせるように、施設管理者と一緒に問題を解決し、生徒がのびのび過ごせる環境を作っていくことがやりがいだと感じています。

《ある一日のスケジュール》

8:30	勤務開始
9:00	学校から要望ヒアリング
12:00	昼休み
13:00	施設巡回
17:15	勤務終了

経営管理部
資産経営課庁舎整備班

山本真弘 (平成30年度入庁)

建築
関係



—県庁舎の電気設備に関する改修工事の設計・工事監理や維持管理を担当しています—

県庁の電気設備を管理しています。受変電設備、非常用発電機にエレベーターや庁内電話など、日々の不具合対応に加え、更新計画を立て、工事監理を行います。県庁は建物の規模が大きく、歴史のある建物もあるので、管理が難しいところもありますが、他の職員が快適に働けるよう工夫を凝らしながら仕事を進めるのが面白いところです。

《ある一日のスケジュール》

8:30	勤務開始
9:00	工事監理・打合せ
12:00	昼休み
13:00	資料作成
17:15	勤務終了

先輩職員の声

企業局東部事務所
柿田川支所管理課管理班

小林映太 (令和3年度入庁)

上下水道関係



— 水道水や工業用水の安定供給を目的として、水道及び工業用水道設備の維持・管理及び改築などの業務に担当しています —

水道、工業用水道に関する電気・機械設備の管理、監視、設備維持のための点検委託や修繕工事の設計監理及び工事監理などの業務を行っています。水道という重要なインフラ設備の維持管理が目的であり、人の生活の当たり前を守ることでできるやりがいのある仕事だと思います。

《ある一日のスケジュール》

8:30	勤務開始
8:40	夜間業務委託業者からの業務引継ぎ
9:00	設計書の作成
12:00	昼休み
13:00	水道施設の巡視及び点検
16:45	夜間業務委託業者への業務引継ぎ
17:15	勤務終了

沼津土木事務所
下水道課狩野川西部浄化センター班

矢部弘明 (平成30年度入庁)

上下水道関係



— 流域下水道における浄化センターの維持管理やプラント電気設備の設計・工事監理などを担当しています —

県が管理する流域下水道における浄化センターの維持管理業務委託やプラント電気設備更新工事等の設計及び発注、監督業務に従事しています。浄化センターの運用においては、電気・通信設備、機械設備、水質管理のため多様な職種の職員が1箇所に在籍しており、各担当と連携のもと管理しています。

《ある一日のスケジュール》

8:30	勤務開始
9:00	維持管理業者と打合せ 現場立会
12:00	昼休み
13:00	発注書類や報告資料の作成
17:15	勤務終了



先輩職員の声

危機管理部

危機対策課防災DX推進班

長谷川大夢 (令和4年度入庁)

情報通
信関係



ー防災通信システム・設備の保守管理、防災訓練の実施及び参加、災害発生時の災害対策本部要員などを担当していますー

防災行政無線システム・設備の保守管理、システムの改修・更新工事、保有している鉄塔等の維持管理、防災訓練の実施・参加、災害発生時の災害対策本部要員等の業務に従事しています。災害時に県民の安全・生活を守るという明確な目的があるため、自身の業務が県民の役に立っているという実感を持って仕事ができることがモチベーションになっています。

《ある一日のスケジュール》

8:30	勤務開始、システム状況等確認
9:30	保守業者との協議
12:00	昼休み
13:00	関係自治体との連絡・調整
14:30	設計資料・文書等作成
17:15	勤務終了

静岡工科短期大学校
教務課社会人教育班

杉山貴音 (令和4年度入庁)

職業訓
練関係

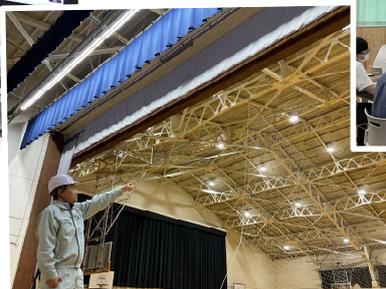


ー働いている方向けの職業訓練「在職者訓練」の企画・運営を担当していますー

在職者訓練の企画・運営として、外部講師との調整や施設・機材等の準備を行っております。近年では、特に第4次産業革命(デジタル化)に対応できる人材の育成に関する訓練の企画に注力しております。訓練修了後のアンケート等で生産性の向上に繋がったと言って頂けると企画して良かったとやりがいを感じます。

《ある一日のスケジュール》

8:30	勤務開始
9:00	訓練受付・ガイダンス
12:10	昼休み
13:00	資料作成
16:00	翌日の訓練準備



人材育成等

技術研修

新規採用職員研修や経験年数や職位に応じた行政職員研修等の全ての職員を対象とした研修に加え、機械の技術職員として必要な知識や最新技術に関する技術研修を受講し、業務遂行に必要な技術力を身につけていきます。
また、国土交通大学校等での外部開催の研修にも参加できます。



電気職員の資格取得状況

電気職員は、配属先の業務に関する資格取得に挑戦し、多くの職員が様々な資格を取得しています。

資格名	取得者数	資格名	取得者数
電気工事士(一種)	17名	陸上特殊無線技士(第1級)	18名
電気工事士(二種)	9名	陸上特殊無線技士(第2級)	18名
電気主任技術者(一種)	4名	建築士(一級)	1名
電気主任技術者(二種)	16名	建築士(二級)	2名
電気主任技術者(三種)	51名	建築設備士	2名
エネルギー管理士	18名	建築基準適合判定資格者	1名
エネルギー管理員	15名	下水道検定(第2種)	1名
危険物取扱者	27名	下水道検定(第3種)	8名
特別管理産業破棄物管理責任者	13名	職業訓練指導員	9名

令和6年4月1日現在

過去5年電気職員試験実施状況

<大学卒業程度(下段は職務経験者)>

年度	採用 予定者数	応募者数	1次試験 受験者数	1次試験 合格者数	1次試験 倍率	最終 合格者数	最終 倍率
令和6年度	6	6	5	4	1.3	3	1.7
	3	6	4	3	1.3	3	1.3
令和5年度	2	8	4	3	1.3	2	2.0
令和4年度	4	10	8	7	1.1	6	1.3
令和3年度	3	13	10	8	1.3	4	2.5
令和2年度	5	11	8	8	1.0	5	1.6

静岡県職員採用試験

静岡県職員採用試験の全般的な情報は、こちらをご覧ください。 ⇨



静岡県 交通基盤部 建築管理局 設備課

〒420-8601 静岡市葵区追手町9-6

電話：054-221-2931 E-mail：setsubi@pref.shizuoka.lg.jp